



# 例会報告：2012年9月18日（曇）第1767回通常例会

会場：小田原卸センター内会議室  
時間：12:30～13:30

## ❖ 会長挨拶

### 「ロータクトについて」



小嶋 章司 会長

1996年（平成8年）に私がロータリーに入った時2780地区のロータクトは10のクラブがありました。

鎌倉	8人	横須賀北9人	
横須賀	10人	相模原	6人
平塚	5人	大和	14人
東海大学	29人	茅ヶ崎	6人
神奈川大学	7人	小田原城北	18人
合計	112人		

現在は鎌倉・横須賀・相模原・小田原城北の4クラブです。会員数も37と三分の一になってしまいました。

当時の小田原城北ロータクトは会長に宮嶋さん（鈴廣）、幹事に星野さん（フジミ）、会員の梶さん（中村維孝）、勝保さん（元事務員の娘）、河野さん（河野秀雄さんの娘）等ロータリークラブ会員に関する会員が多数いたようです。

ロータクトクラブ定款の第3条に「本ロータクトクラブの提唱者は最小限5名のロータリーアンより成る委員会により本ロータクトクラブを指導し、本ロータクトクラブの後見人としての責務を負うものとする。」また、提唱ロータリークラブが積極的に直接参加し続けるか



否によって本ロータクトクラブの成功・発展が決まることになる。しかし、いかに定款・細則を定め、運営がロータリーに似ていてもアクトは決してロータリーの一部をなすものではない。これは、ロータリークラブの奉仕活動の一部であることを承知しておく必要がある。すなわち、ロータリークラブがアクトという組織を作って、これを青少年に提供し、お互いにこれを利用して活動するものである。従ってロータリークラブあってのアクトであって、ロータリークラブが消滅するか、力が弱まれば当然アクト存在しなくなる。また、ロータリーの方針にもとるような存在となった場合はいつでも終結させることができる。アクトに関する最終責任は常にロータリークラブにあるというわけです。

RIが従来の方針である規制団体の育成から直接指導を行うようになったのは青少年奉仕活動を重要視した結果に他ならない。従来奉仕の理想を成年・しかもある程度成功した社会人浸透させるよう努力してきたがそれでは遅すぎるといふわけである。これから伸びる我々の後継者に若い時から奉仕の理想を伝えていけばよりよい社会をつくるのにいっそう効果的というのがその目的なのです。

## ❖ 幹事報告

久保田 知子 幹事



1)来週はガバナー公式訪問です。出席委員会の方にお願いがございます。今日欠席の方に来週は出席して頂くよう連絡をお願いします。ガバナー公式訪問での服装はクールビズでよろしくお願います。  
2)第4回の定例理事会のご案内を本日ボックスに入れていただきましたので、理事の方はよろしくお願います。

## ❖ 出席報告

安藤 克己 委員長

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
9月18日	48(45)	40	0	88.89%
9月11日	48(46)	36	2	82.61%
9月4日	48(46)	41	0	88.89%

【欠席者】 10名

中村 維孝、鈕持 悟、石橋 徹、小楠 雅昭、内山 修

【今回MU】 無し

【前回MU】 1名増加

小川 和夫 (9/12 小田原城北RAC)

【前々回MU】 増加無し

## ❖ 卓話の様子



## ❖ 卓話

### 「クラブ協議会」

国際ロータリー第2780地区第9Gガバナー補佐 鈴木 倭介様



今年のRI会長の田中作次さんのお話、来週こちらにお連れをする2780地区の菅原さんのお話を少し復習も兼ねましてお話をさせていただきます。そして後に第9グループでこんなことを取り組み始めましたというお話をしたいと思います。まずは今年のご案内の通り国際ロータリーの会長は日本人としては30年ぶり3人目の田中作次さんであります。

田中さんは貧しい新潟でお生まれになって、集団就職で上野にて丁稚奉公みたいなことをされながら夜間の高校を出て紙の商売をされ、今では日本で指折りの紙の会社を運営されている方だと伺っております。その方がおっしゃっているのは、自分がロータリーに出会わなかったら自分の人生は全く違ったものになっていたであろうという言葉です。どうということかという、自分がロータリーに出会わなかったら自分の世界は非常に狭い世界であったと、自分の会社、自分の取引先、自分の競争相手、世界中色々な所へ旅行には行っただけで観光旅行でしか行ったことが無かった。ロータリーに入ったお蔭で自分の世界が広がって物の考え方が大きく変わったとおっしゃっております。改めまして私はロータリーの力の大きさ、ロータリーであることの意味を日本人の田中さんが国際ロータリーの会長をされているということをつましく私たちがロータリアンであることをもう一度考えるきっかけにして頂ければと思います。ですので「奉仕を通じて 平和を」という言葉をかみしめて行きたいなと思っております。そしてその言葉を受けて、私たちの2780地区の菅原ガバナーがスタートをきって1年間走り始めたのです。

菅原さんのお人なりについては来週来ますのでそこで確認していただければ分かると思います。菅原ガバナーが再三再四、私や他のガバナー補佐に言っていることは、とにかくクラブが基本だと、地区は色々言っているがそれはクラブを活性化するための仕組みであり、ルールであるわけだからとにかくクラブが基本なのだという話をしております。

国際ロータリーの長期の戦略の中で3つの柱があります。「クラブのサポートと強化」まさにこれがクラブが基本だということでもあります。「人道的奉仕の重点化と増加」「公共イメージと認知度の向上」という3つの戦略計画があり、2780地区で言えば3年目の年で完成をしなければならないということで菅原ガバナーは10の重点項目を掲げております。

- ①RI会長テーマ及び強調事項の推進
- ②クラブ研修リーダー及びクラブ研修委員会の充実、地区も国際ロータリーも物事が単年度では終わらなくなっているというか、色々な意味でロータリーは単年度制を超えて物事を考えて動いていかないと本来の果たすべき役割が果たせなくなっているという状況があります。そうした中で中長期的に考えて行く事が必要な中でこのクラブ研修リーダーやクラブ研修委員会の役割が大変必要になってきておりますし、特に会員増強・維持という中で、会員が楽しくクラブに参加できるよう基本的な情報もきちっと与えていくという中でクラブの研修委員会が大切だと思っております。
- ③会員増強・維持 会員を2700名の目標、ガバナーが2つの事を言っております。クラブがあくまでも基本だということ、もう一つはクラブの活性化のためには会員の増強が不可欠だということをおっしゃっております。新しい血が入ってこないというクラブというのは活性化しないとつねづね申しております。皆様も色々な企業、団体の長でいらっしゃると思いますが、どういう組織でも新しい血を入れていかないと活力がなくなっていくのがロータリーは年齢制限がありませんので自然減をしていくのが当たり前の組織です。ですので新しい血をいれていかないとだんだん力

が無くなってしまいます。今年は無謀と言われておりますが各クラブ5名を目標に掲げてやっていただきたいと思っております。

④ロータリー財団、次年度夢計画の推進。このことは非常に複雑に思えてしまいますが私もここでずっと勉強させていただく中で頭の中で整理がついた事がひとつあります。ロータリー財団というのは、クラブの中では寄付を集めることになってしまっているのが現実です。集めたお金をどう使うのというのが今までなかったのが事実だと思います。しかしどう使うのかというのがクラブの財団委員会の仕事の後半戦という認識が必要です。そのために未来の夢計画というのがあります。ロータリー財団はお金を集めてどう運用するのか、そして未来の夢計画というのはどう使うんだ、使い方の話というふうな頭の中を塗り替えていただく少し理解するのかなと思っております。

- ⑤3年後の奉仕活動推進の為、一人当たり200\$以上の目標
- ⑥米山奨学生30名確保の為、一人当たり2万円以上の目標
- ⑦新世代の育成ロータクト、インターアクトの新クラブ設立、特にこれをガバナーが強く申しております。最近ロータクトも勢いなくなっている現状です。ロータクトも地区では4つになってしまいました。インターアクトも地区の中で10クラブです。提唱クラブを増やしていきたいという思いがあるのです。
- ⑧第2780地区のネットワークとブランドの確立、これはRIの戦略計画の「公共イメージと認知度の向上」を受けたお話です。もう少しロータリーをアピールしていかないと色々な輪が広がっていかないねという中できちっとPRしていこうということです。
- ⑨東日本大震災復興への支援
- ⑩地区・クラブ役員が18ヶ月活動できる環境づくりの確立、こちらも前回お話をさせていただきましたが、ロータリーも単年度ではなかなか成果がでない状況になっておりますので、7月のスタートの時にどうしようかと考えても遅いので、少なくとも半年前から準備しておかないといけないということで半年前の6ヶ月前から動いていかないと実が実らないということです。

この10の方針を受けて第9グループでは重点的にやっていこうと考えていることがあります。

- ①会員増強・維持、先ほど申し上げたとおり会員減少に歯止めがかからない状況ですが、具体的なアクションをとっていただきたいなと思っております。例えば若い世代の会員に入ってもらうためにネックとなる高い会費をクラブの中で決め事をしていただければ、例えば年齢を決めて35歳までは会費を半分で良いなどできます。あるクラブで大変成功しているのは、3ヶ月、半年間など体験入会していただき、来る人は必ず入るそうです。そのように他のクラブでやっていることを参考にさせていただいたら良いと思います。
- ②ロータリー財団・未来の夢計画、財団の新しい補助金の仕組みが移行の時期になって今年が最後の年で来年から新しい仕組みにいくのです。各クラブ勉強をして単独だと大変なので第9グループとしてまとまって何か出来ないかと今考えております。それと合わせて被災地復興支援というテーマをいただいておりますので財団の補助金をうまく組み合わせて取り組めないかと考えております。会長幹事会の中で各クラブの会長さんとお話をさせていただきながら進めて参りたいと思っております。そんなことで第9グループはこのことを重点的に進めていきたいと思っております。

